

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより

2015

4

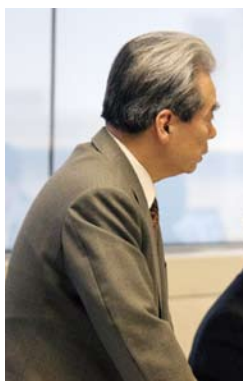
April

■発行／墨田区議会自由民主党（墨田区吾妻橋1-23-20）

■発行責任者／樋口敏郎 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>



答弁する
田中邦友議員



委員会運営を行う
沖山仁委員長

2月2日から3月31日まで、平成27年墨田区議会第1回定例会が開催されました。今定例会では、区民の皆様からお待ちかねの税金の使い途（予算）を審議する、予算特別委員会が設置されました。墨田区議会自由民主党からは、沖山仁委員長、佐藤篤副委員長、瀧澤良仁委員、西原文隆委員、坂下修委員、福田はるみ委員、しもむら緑委員が選出され、区長から提出された各会計予算について9日間の集中審議にあたりました。

審議の中では、財政から子育て支援、高齢者福祉、産業政策など、幅広い分野において、区民の皆様の視点に立って議論し、予算の執行にあたっての提案等を行った上で、各会計予算について賛成しました。

以下は、予算特別委員会最終日に、区長提出の予算案について自民党の見解を述べた、「意見開陳」の要旨です。

平成27年度第1回定例会が開催されました。
平成27年度墨田区各会計予算を可決しました。

意見開陳（要旨）

1. 財政について

歳入増の見込みであるが、法人住民税の一部国税化など、安定して歳入を確保できるかは不透明な状態であり、依然として厳しい歳入環境にある。

柔軟な財政運営のために、基金の積み増しと区債残高の注視が必要。

2. 基本計画事業について

● 現基本計画の最終年度であるため、これまでの集大成となるよう努力を求める。

● 繰り延べになっている事業については、新基本計画の策定において明確な方向性の提示を求める。

3. 平成27年度の各種制度改正について

① 子ども・子育て支援新制度について
事業者・利用者の双方に誤解や不利益が生じないよう、十分な周知を望む。

● 引き続きの待機児童ゼロへの取り組みを。



意見開陳を行う
福田はるみ委員



質問に立つ
瀧澤良仁委員

② 介護保険制度の改正について

● 28年度から始まる、要支援者に対する新しい介護予防・日常生活支援総合事業を含め、万全な地域包括ケアシステムの構築を目指してほしい。

③ 教育委員会制度改革について

● 教育行政への区長の関与が大きくなる。教育委員会と区長部局との連携を密にし、教育の諸課題解決に取り組むべきである。

4. 防災対策について

● 本密地域不燃化十年プロジェクトの推進や不燃化促進事業については、地域住民と協議し、現実的かつ効果的な展開を期待する。

5. 産業・観光施策について

● 国や東京都の支援制度について、区内の商店街や事業者を積極的に施策誘導していくべきである。

● 平成32年の東京五輪について、ボクシングの会場となる国技館周辺の具体的な整備計画の提示を求める。

6. 政策課題について

● 京成押上線の高架下利用については、早期の計画策定を求める。



質問する坂下修委員



予算特別委員会での
しもむら緑委員

7. 新基本計画について

● 新区長の下で、区議会の提案、山崎区長の助言を踏まえ、全庁を挙げて、20年、30年先を見据えた未来志向の基本計画の策定を求める。

山崎昇区長が引退を表明



山崎昇区長は、2月2日の本会議における施政方針の中で、今期をもって引退することを表明しました。

墨田区議会自由民主党は、山崎昇区長が4期16年の長きにわたり、区政進展のためにご尽力されたことに心より敬意を表します。

第一回定例本会議での質疑一覧

「代表質問」



墨田区議会議員
樋口 敏郎

「質問項目一覧」

1. 山崎区長の4期16年の区政運営の総括を

- 人口増や東京スカイツリーの開業など、墨田区の姿が変わっていく中で、どのような区政運営を心掛けたのか
- これまでの財政運営と現在の状況について
- 任期中の議会との関係について

2月2日の本会議での山崎区長の引退表明を受け、これまでの区政運営について質問した。

基本的な考え方、危機的な財政状況は克服したものの、23区中最低水準が続いている現状についての見解、決算の不認定や予算への附帯決議などがあった過去の議会との関係についてそれぞれ総括を求めた。

2. 平成27年度予算編成について

- 基本計画事業で繰り延べとなっている事業の考え方
- 国の平成26年度補正予算への対応状況
- 歳入増につながる産業振興施策の取り組みは

3. 後期基本計画の3つのリーディングプロジェクトの総括

- 東日本大震災を教訓とした防災対策
- 子育て環境が整備され、高齢者を地域で見守るまちづくり
- スカイツリー効果を活かし、活力あるすみだをつくる

平成27年度は現基本計画の最終年度であるため、各項目について質問した。防災対策については、これまでの達成度について質問した。子育て環境については、平成27年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」への充分な対応を要望するとともに、教育委員会との関係も質した。高齢者福祉については、介護保険制度改正にあたって、地域包括ケアシステムの構築の取り組みについて質問した。観光施策については、これまでの成果を確認し、今後の東京五輪を見据えた施策展開を求めた。

4. 墨田区の教育について

- 教育委員会制度改革について
- 国や東京都の教育関係予算との関連について

5. 墨田区の将来について

- 区長の思い描く墨田区の将来像とは
- 「人づくり」「まちづくり」への取り組み
- すみだ北斎美術館、大学誘致について
- 区内のまちづくり事業について

次期の区長にどのようなことを望んでいるのか、墨田区の将来について何を期待するのか、具体的な課題や事業についても触れつつ、山崎区長の見解を求めた。

「一般質問」



墨田区議会議員
佐藤 篤

●子どもの貧困対策について

問 OECD（経済協力開発機構）

の調査では、日本の子どもの相対的貧困率は15.7%（加盟国34か国中10番目）、ひとり親家庭の相対的貧困率は50.8%（加盟国中最高）という状況にあり、子どもの貧困対策は党派を超えた国家的課題である。①子ども

の貧困に対して正しい対策を行うために、その根拠となる、正しいデータをとるべきではないか。早急に区内の「子供の貧困に関する指標」について、税務、戸籍、保護行政等、全庁が保有するデータを突合し、把握すべきだ。②子どもの貧困対策は、保護、学力向上、奨学、健康医療など、多くの横断的な行政テーマにまたがる問題だ。区長を本部長とし、教育委員会にもまたがる横断的な組織として「(仮称)子どもの貧困対策推進本部」をつくることを提案する。③義務教育を行う小中学校は、すべての子どもたちが通る唯一の道であることから、学校をプラットフォームにした子どもの貧困対策が重要だ。区としての見解を求める。

答 ①貧困率の把握について、税務、戸籍、保護行政等が保有するデータは多岐に亘り十分に活用できていないことから、早急に検討していきたい。②提案の対策推進本部については、協議、調整の場の一つのあり方として十分検討する必要がある。③現在、区立小中学校に通学する児童・生徒の保護者を対象に、就学支援に関するアンケート調査を行って

いる。これらの結果を分析し、教育と福祉の連携の今後の取組みの参考としていきたい。

●災害時の褥瘡対策について

問 東日本大震災の際、多くの在宅高齢者が褥瘡(いわゆる「床ずれ」)の悪化に苦しんだという。災害時は、重篤な患者が優先され、寝たきりの高齢者が自宅や避難所で過ごすに当たり、十分なケアが受けられなかったり、停電によりエアマットが使えなくなり、褥瘡が悪化するという事態が起こった。褥瘡は、二次感染によって敗血症を引き起こし、重篤化することもあることから、区として災害時の褥瘡対策を考えておくべきだ。

答 災害時の褥瘡対策に関する区としての具体的な計画上の位置づけは定めていないが、災害時には要援護者の安否確認を行っていくので、褥瘡を含め一人ひとりの健康状況を把握し、重篤化することのないよう適切に対応していく。また今後、災害時の食支援マニュアルの策定等を目指し、その中で、在宅の高齢者の褥瘡にかかる課題も踏まえ、応急・復旧・復興のフェーズごとの動きに合わせて、栄養的な配慮が必要な方への食支援ができるよう、役割分担等を明確にしていきたい。

第一回定例会・特別委員会の様子

食育推進全国大会を 墨田区で開催します

墨田区では平成19年度、「みんなが健康でたのしい食環境を通して豊かな人生をおくる」ことを目指した墨田区食育推進計画を策定し、区民・地域団体・企業・NPO・大学・事業所が連携し食育活動を行う「すみだ食育 good ネット」の設立など、区民と区が協働して食育推進運動を行ってきました。

これまでの取組みが、平成25年度の内閣府「食育白書」で紹介されるなど評価され、内閣府と共催で、平成27年6月に「第10回食育推進全国大会」を実施することとなりました。区の食育推進の特徴である食を通した「人づくり」「まちづくり」を重視し、全国の関係者が交流するワークショップの開催や、まちなかでの様々な企画を開催いたします。

●開催時期：平成27年6月20日(土)・21日(日)

●開催場所：江戸東京博物館、国際ファッションセンター、墨田区総合体育館、区内各所(保育園・幼稚園・小学校・中学校・商店街店・商業施設・水族館・地域スペース等)を予定。

※詳細は区報、区のHP、全国大会専用HPにてご覧頂けます。

プレミアム付商品券を 発行します

まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業として、地域の消費喚起や景気の脆弱な部分にスピード感をもって、的を絞った対応をするために墨田区は次の事業を行います。

①プレミアム付商品券の発行→一冊あたり1万円で、1万2千円分使用可。平成27年7月から販売いたします(高齢者及び障害者の皆様を対象に先行販売を実施)。

②多子世帯への商品券の配布→18歳以下が3人以上の世帯を対象に、プレミアム付商品券を無料で配布いたします。平成27年7月配布予定。
※プレミアム付商品券は平成27年12月末が使用期限となる予定です。

③(仮称)すみだまるごとパルの実施→区民の皆様が区内全域の加盟店舗を回遊するためのパルチケットを発行し、パルイベントを開催します。パルチケット一冊6枚3千円で販売。各店舗では一枚につき500円のところ700円相当のメニューを提供します。

* プチイベント：平成27年6月20日から21日(食育推進全国大会と同時開催)

* グランドイベント：平成28年2月1日から14日



▲ 企画総務委員会を運営する出羽邦夫委員長



▲ 福祉保健委員会での中沢えみり議員



▲ 産業都市委員会での加藤拓議員

教育委員会制度が変わります

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育行政の司令塔としての教育委員会制度が大きく変わります。

墨田区議会においてもこれに関わる関連条例の改正を行い、法改正に対応しました。

自民党としては、教育の政治的中立性は尊重しつつも、教育行政により住民の皆様が意思が反映され、責任が明確化されるような体制整備に取り組んでいきます。



Point 1

新しい
教育長の設置

これまで、教育委員会の事務局を司る常勤職で教育行政の実質的な運営を担う教育長については、区長が区議会の同意を得て選任した5名の教育委員の中から、教育委員会における互選を経て選任されてきました。今回の法改正では、区長が区議会の同意を得て、教育長を直接選任できることとなり、任命責任が明確化されることとなります。

また、これまで非常勤の教育委員長が教育委員会の招集権限をもってきましたが、非常時には招集に時間がかかるなど問題点も指摘されていきました。今回の法改正で、招集権限が常勤の教育長に与えられ、非常時対応についても法整備がなされました。

Point 2

総合教育会議の
設置

これまで教育行政に関する運営権限は教育委員会が担う一方、教育予算の編成権は区長にあり、両者の連携が問題として挙がっていました。今回の法改正では、区長が招集する総合教育会議において区長と教育長・教育委員が協議・調整を行うこととなり、公開かつ公的な場で区長と教育長・教育委員が教育行政について討議できる体制整備が整います。

Point 3

教育に関する
「大綱」の策定

これまで墨田区教育委員会が定めた「すみだ教育指針」をもとに教育行政を執行してきましたが、これからは総合教育会議で協議・調整を尽くした上で、区長が策定する教育に関する「大綱」を策定し、教育行政を執行方針とすることとなります。これにより、住民の皆様がより反映された教育行政を行うことができます。



NEWS

ニュース

我が会派の西原文隆議員、林恒雄議員が今期をもって区議会議員を勇退します。

西原議員は9期36年、林議員は4期16年の長きにわたって区政の進展、区民福祉の向上のために尽力しました。

**西原文隆議員・
林恒雄議員が勇退します。**



山本亨議員が1月1日付けで会派を退会し無所属となりました。自民党としては山本議員の決断を理解し、支えていく所存です。



**山本亨議員が
会派を退会しました。**



瀧澤 良仁

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 区民文教委員会委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 墨田 5-33-4 ☎ 3611-4003

すみだ自民党 議員紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員です。
お近くの議員にご相談ください。



西原 文隆

- 産業都市委員会委員
- 観光対策特別委員会委員長

☎ 押上 1-25-5 ☎ 3622-9570



坂下 修

- 墨田区監査委員
- 区民文教委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 向島 3-18-10 ☎ 3625-1810



出羽 邦夫

- 企画総務委員会委員長
- 観光対策特別委員会委員

☎ 八広 4-11-19 ☎ 3616-5834



田中 邦友

- 墨田区議会議長
- 福祉保健委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☎ 八広 1-39-17 ☎ 3616-7014

行動します! We Take ACTION!!



沖山 仁

- 産業都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 京島 1-39-1-918 ☎ 3617-6558



林 恒雄

- 福祉保健委員会副委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 江東橋 1-8-7 ☎ 3631-1934



樋口 敏郎

- 幹事長・議会運営委員会委員長
- 企画総務委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☎ 八広 3-6-3 ☎ 3617-4129



福田 はるみ

- 産業都市委員会委員長
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 業平 4-5-16 ☎ 3625-8139



中沢 えみり

- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 堤通 1-5-9 ☎ 080-5008-9930



加藤 拓

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 産業都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 緑 1-2-12-503 ☎ 050-1334-9640



佐藤 篤

- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 京島 3-18-4 ☎ 090-8567-8293



お気軽に
ご意見をお寄せください。



しもむら 緑

- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 亀沢 4-22-8-608 ☎ 6658-4595

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

墨田区議会自由民主党

お気軽にご意見をお寄せください。